

一九五九年六月一四日

水俣市のガンと言はれる水俣病を一日も早く解決させよう。我々日常の食生活に絶対欠く事の出来ない食料品の重要な役割をなす魚が奇病の媒介者と聞く時、市民全体魚を食する者が毎日不安と恐怖におののき、一日として原因の探求そして其の解決を望み安心して魚を食べられる様にと願ふ事は、消費者市民の皆様は勿論の事関係業者の誰もが望む所と思ひます。

私達業者は昭和二十八年奇病発生以来現在の化学・医学の発展ぶりを見る時早急解決は問題なしと樂觀しておりました所、案外にも其の解決は長引き、いたずらに奇病発生の報を聞く丈け、其の対策、処置に於ては何等発展は認められず市民皆様の不安は益々高まり我々業者の購売能力は低下し、その生活さえも、危ぶまれる状態に陥つて来たのであります。

此処に於て私達業者は先づ、危険区域の漁業禁止の設定を設け、漁業者の自覚をうながすのであります。

そこで私達業者として市民皆様に御うったえ致します。

- 一、魚市場は沿岸地域の魚介類は受入れてるません。
- 二、水揚げされた魚の中、危惧される魚介類は、小売組合の申し合せにより絶対に買はず、又販売をもしない事になっております。
- 三、今までに病気になるた人は、100%迄危険区域で自分で採って食して来た人です。
- 四、我々魚屋は一日として、魚を食しない事はありません。それでも現在只一人の奇病者は出しておりません。

五、我々業者の魚を買って食べた市民皆様からも未だ只一人の奇病者は出しておりません。

六、市場を通じない我々業者組合員でない間商人の魚は買はない様にさせよう。(組合員は組合員章を身につけております。)

七、我々業者は善意を以て皆様に魚を売っております。それは我々の使命でもあり、又生活の根源であるからです。

市民の皆様、奇病問題早急解決には全員こぞって一致協力をお願いするものであります。

水俣鮮魚小売商協同組合

水俣市魚市場